

## グループ学習に対する不安と心理的・環境的要因の関連 —教科と校種に着目して—

児玉佳一(大東文化大学)

キーワード: グループ学習, 教師, 不安

### 問題と目的

協働学習に関心が高まる中, その有効性を認知しつつも, 一方で実践に不安を抱えている教師も多いと考えられる(e.g., 石橋他, 2015)。Kodama(2019 WERA)では, 協働学習に対する教師の不安について検討したところ, 校種(小・中)や教科(国語・算数数学)に共通して, 最終的な評価に不安を抱えている様子が示された。本研究では, こうした不安について, 心理的要因や環境的要因, がどのように関連するかを検討する。

### 方 法

#### 研究協力者

楽天インサイト社およびマクロミル社によって募集された小学校教師400名, 中学校教師400名が調査に参加した。教師は両校種とも200名が国語, 200名が算数・数学について回答した。

#### 調査手続き

オンライン質問紙調査を行った。不安に関する教示文は「グループ学習について, 以下の項目の内容にどのくらい不安がありますか」とし, 全24項目への回答を求めた。この24項目は, 協働学習における教師の役割を示した文献を参考に作成した。特にKaendler et al. (2015)が示した協働学習において教師に求められる5つのコンピテンシー(Planning: 学習の構成, Monitoring: 学習者の観察, Supporting: 学習中の支援, Consolidating: まとめ, Evaluating: 評価)を因子として想定した。その他, 個人の経験として教職経験年数, グループ学習実施率(週のうちのどのくらい実施したかを%で回答), グループ学習実施年数, 心理的要因として協働学習に対するポジティブイメージ(6項目: 高旗ら, 2010を基に作成), 教職への自律的学習動機づけ(6項目: 三和・外山, 2015; 西村ら, 2010を基に作成), 環境的要因として教師としての学習環境(15項目: 露口, 2003を基に作成), 学校目標(協働学習に関する目標か)を尋ねた。

### 結果と考察

協働学習に対する不安については, Kaendler et al. (2015)に従って, 5因子を想定した確証的因子分析を行った。その結果, 概ね十分な適合度が得られた(CFI=.924, RMSEA=.085, SRSM=.045)。心理的要因(ポジティブイメージ, 学習動機づけ)と環境的要因(学習環境)については探索的因子

分析(最尤法, プロマックス回転)を行い, それぞれ1因子と解釈した。

次に校種・教科ごとに階層的重回帰分析を行った。目的変数は協働学習への不安の各因子, 説明変数は, 個人経験変数である教職経験年数, グループ学習実施率, グループ学習実施歴をStep 1, 心理的要因と環境的要因をStep 2, 心理的要因と環境的要因の交互作用項をStep 3に投入した。

主な結果, 校種・教科に共通していた主効果としては, 教職経験年数は負の関連を示した。また, 中学校の国語において学習動機づけは正の関連を示した。

そして交互作用および単純傾斜分析の結果, 小学校の国語では, どの不安とも学習環境とポジティブイメージの交互作用が示された。単純傾斜分析では, 協働学習に対するポジティブなイメージをもつ教師は, 学習環境が整っていると認識しているほど不安が低かった。

小学校の算数では, PlanningとConsolidatingで学習環境と学習動機づけの交互作用が示された。単純傾斜分析では, 学習動機づけの高い教師は学習環境が整っていないと認識しているほど不安が高かった。

中学校の国語では, 一部の不安において学校目標とポジティブイメージ, 学習環境とポジティブイメージ, 学校目標と学習動機づけ, 学習環境と学習動機づけの交互作用が示された。単純傾斜分析では, 全ての不安においてポジティブなイメージをもつ教師は学校目標が協働学習に関するものであると不安が小さく, 学習動機づけが低い教師は学校目標が協働学習に関するものであると不安が小さかった。また, Evaluatingのみポジティブなイメージをもつ教師は学習環境が整っていないと認識しているほど不安が高かったが, 他の不安において単純主効果は示されなかった。

中学校の数学では, 一部の不安において学習環境とポジティブイメージの交互作用が示された。単純傾斜分析では, MonitoringとSupportingにおいてポジティブなイメージをもつ教師は学習環境が整っていないと認識しているほど不安が低いというこれまでと逆の結果が示された。

### 付 記

本研究はJSPS 科研費(18H05792)の助成を受けて実施されました。